

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 3 月 15 日(2024.3.15)

【公開番号】特開 2024-28667(P2024-28667A)
【公開日】令和 6 年 3 月 4 日(2024.3.4)
【年通号数】公開公報(特許)2024-040
【出願番号】特願 2024-10732(P2024-10732)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 3 月 7 日(2024.3.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

前方から視認可能な第 1 手段と、
前記第 1 手段の前方において前記第 1 手段の表示部と前後に重なるようにして配置され、
前方から視認可能な第 2 手段とを備え、
前記第 2 手段が前記第 1 手段に対して相対変位可能に構成されるとともに、
前記第 2 手段を変位駆動させる駆動手段を備え、
前記第 2 手段を前記第 1 手段において導出されている演出表示に関連する演出状態とすることが可能に構成され、前記第 1 手段において導出されている演出表示に連動して前記第 2 手段が変位可能に構成される遊技機において、
前記第 2 手段が特定位置にあることを検知可能な手段を備え、
前記第 2 手段と連動するよう合わせ表示を表示することが可能に構成され、前記第 2 手段が前記特定位置を離れて前記第 1 手段の表示部において表示される前記合わせ表示に対応する位置へ向かって変位している状態であることを把握することが可能であり、
少なくとも前記第 1 手段とは異なる演出を実行することが可能な第 3 手段を備え、
前記第 2 手段は、前記第 1 手段において導出されている演出表示と連動する演出状態である第 1 演出状態と、前記第 3 手段の態様に関連する演出状態である第 2 演出状態とに状態変化可能に構成され、
前記遊技機前方からの前記第 1 手段、前記第 2 手段、及び、前記第 3 手段への接触を規制する接触規制手段を備えていることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

請求項 1 に記載の遊技機は、
前方から視認可能な第 1 手段と、
前記第 1 手段の前方において前記第 1 手段の表示部と前後に重なるようにして配置され、
前方から視認可能な第 2 手段とを備え、

50

前記第 2 手段が前記第 1 手段に対して相対変位可能に構成されるとともに、
前記第 2 手段を変位駆動させる駆動手段を備え、
前記第 2 手段を前記第 1 手段において導出されている演出表示に関連する演出状態とする
ことが可能に構成され、前記第 1 手段において導出されている演出表示に連動して前記第
2 手段が変位可能に構成される遊技機において、
前記第 2 手段が特定位置にあることを検知可能な手段を備え、
前記第 2 手段と連動するよう合わせ表示を表示することが可能に構成され、前記第 2 手段
が前記特定位置を離れて前記第 1 手段の表示部において表示される前記合わせ表示に対応
する位置へ向かって変位している状態であることを把握することが可能であり、
少なくとも前記第 1 手段とは異なる演出を実行することが可能な第 3 手段を備え、
前記第 2 手段は、前記第 1 手段において導出されている演出表示と連動する演出状態であ
る第 1 演出状態と、前記第 3 手段の態様に関連する演出状態である第 2 演出状態とに状態
変化可能に構成され、
前記遊技機前方からの前記第 1 手段、前記第 2 手段、及び、前記第 3 手段への接触を規制
する接触規制手段を備えていることを特徴としている。

10

20

30

40

50